

朝鮮人労働者慰霊の像（右上）の前で開かれた追悼の集い
—神戸市兵庫区で



朝鮮人労働者しのぶ

神戸電鉄敷設工事で13人死亡

昭和初期に、現在の神戸電鉄の敷設工事で事故死した朝鮮人労働者を追悼する集いが、神戸市兵庫区会下山町の慰霊像前であった。市内外から約20人が参加。1927〜36年に計5回も起きた事故で命を落とした朝鮮人13人をしのんだ。

「神戸電鉄敷設工事朝鮮人犠牲者を調査し追悼する会」が主催。

日本語で読み上げた。徐根植会長は「犠牲者たちの過酷な労働実態を学ぶためにも、追悼を続けたい」と話した。

【木田智佳子】

木田智佳子
2018.10.25